

親子で楽しむ クラシック コンサート Vol.2

令和8年5月17日

開場 13:30 開演 14:00
藍住町総合文化ホール(大ホール)

入場料 全席指定

■一般 1,500円(当日2,000円)
■高校生以下 500円(当日1,000円)

※4歳以上有料。3歳以下のお子様は入場をご遠慮ください。

チケット発売日

2/14(土)9:00~

チケット取り扱い

藍住町総合文化ホール、電子チケット

※公演の最新情報や電子チケットについてはHPをご覧ください。



出演者

管弦楽

徳島交響楽団

指揮

大山 晃

司会・読み手

安倍 久恵

Program

第1部

フチーク／剣士の入場
ハイドン／交響曲94番「驚愕」第2楽章
お楽しみコーナー(楽器紹介クイズ・指揮者体験)
ビゼー／カルメン前奏曲
チャイコフスキー／花のワルツ

第2部

アンダーソン／トランペット吹きの休日
／ワルツィングキャット
／シンコペテッド・クロック
ロバート・ロペスとアンダーソン＝ロペス／アナと雪の女王
絵本読み聞かせ&演奏
・絵本 「あんぱまん」 作／絵 やなせたかし フレーベル館
・演奏 馬飼野康二・三木たかし／アンパンマンメドレー
※プログラムは変更になる場合があります。予めご了承ください。



お問合せ 藍住町総合文化ホール TEL:088-637-3344
(徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1)

主催 藍住町芸術文化鑑賞事業実行委員会
企画・出演 徳島交響楽団

助成 芸術文化振興基金助成事業





指揮 大山 晃 Akira Oyama

高松市出身。東京学芸大学教育学部D類音楽科卒業。指揮を伊藤栄一氏に師事。1991年ジ・アマデウスセカンドコンサートでのデビュー以後、高松交響楽団、丸亀シティ・フィル、文理OBオーケストラ、シンフォニア徳島など四国を中心にさまざまな団体を指揮して演奏のたびに世評を高めている。これまでに100曲以上を手がけた協奏曲のスペシャリストとして知られるほか、オペラやカンタータなどの声楽を伴う作品を得意としている。1994年にはバッハの宗教的作品の演奏を目的として、コレギウム・ムジクム高松を創設、教会カンタータを中心に継続的に演奏を続け、2016年には「マルコ受難曲」(グリヒトリック復元版)の日本初演を指揮して各方面から絶賛された。

また同時代の音楽の紹介にも意欲的で、ライヒ作曲「エイト・ラインズ」など日本初演を含む多数の20世紀以降の作品を指揮・紹介し好評を博している。特に2003年から5年間にわたって行われた、かがわ文化芸術祭主催公演の「ゲンダイ音楽」シリーズは企画・演奏ともに注目を集めた。作曲家としても、多数の作品が県内外で演奏されており、2016年に初のオペラ「お気に召すまま」が初演されるなど高い評価を得ている。現在、高松第一高等学校音楽科教諭。高松交響楽団、コレギウム・ムジクム高松各指揮者、高松コンテンポラリーソイスツ音楽監督。かがわジュニアフィルハーモニックオーケストラ常任指揮者。



司会・読み手 安倍 久恵 Hisae Abe

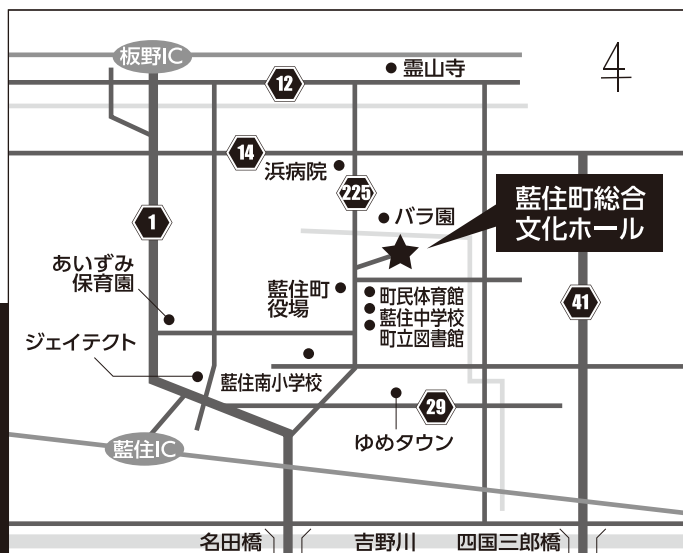
元四国放送アナウンサー
「クラシックコンサート」「邦楽演奏会」「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃大会」「合唱祭」、式典、講演会などの司会を務める。絵本の読み聞かせやコンサートでの朗読も行っている。2021年徳島県主催「WITHコロナ時代とあわ文化音楽編」トークセッションの司会を務めた。

管弦楽 徳島交響楽団 Tokushima Symphony Orchestra



1971年、徳島市民管弦楽団として発足。1982年、徳島交響楽団と改称した。毎年、定期演奏会、ニューイヤーコンサートを開催し、鳴門「第九」交響曲演奏会、徳島県音楽協会コンサートなどに出演。また、多彩な演奏会により、幅広く徳島県の音楽文化の発展に貢献している。2008年には徳島交響楽団ジュニアオーケストラを設立し、青少年の育成に努めている。また、演奏会のソリストによる公開レッスンやアウトリーチ事業を積極的に展開し、社会貢献事業にも取り組んでいる。2026年に創立55周年を迎え、さらなる向上を目指して活動している。1983年 徳島新聞文化賞、1988年 徳島県知事賞、1991年 地域文化功労者表彰文部大臣表彰、2013年 平成25年度徳島県文化賞受賞。

アクセスマップ(藍住町役場から徒歩3分)



藍住町総合文化ホール

771-1203 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1
TEL 088-637-3344

※駐車場の台数には限りがあります。
乗り合わせでご来場ください。

▶ 藍住町総合文化ホール公式アカウント

公演の最新情報などを配信しています。



[LINE]
ID:@756whbmr



[X (旧: twitter)]
ID:@aizumi_bunka



[Instagram]
ID:aizumi_bunka